

全国学生調査（試行実施）について

概要

- 国が全国共通項目で、学びの主体である**学生目線**から大学教育や学びに関する調査を実施。
- 大学の**学部生対象**に、大学での**学習状況や学習時間、知識や能力を身に付けるにあたって大学教育が役に立っているかなど**在学中の**学びの実態**について状況を把握。調査結果は**大学での教育改善**や**大学教育に対する社会の理解促進**、**国における政策立案の基礎資料**として活用。
- 令和元年度については、適切な調査方法や設問項目などを整理・検証することを目的とする試行調査として実施。

背景

- **学生がどのような能力を身に付けているかについて、社会に対する説明や情報公表が不十分**との指摘。
- 各大学が教育成果等の教育の質に関する情報を把握・公表していくこと、**国は全国的な学生調査等を通じて整理し、比較できるように一覧化して公表すべき**との提言。（「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月 中教審答申））

目的

- 各大学にフィードバックされた学生の回答状況や公表された調査結果を踏まえ、**各大学が教育改善に活かす**。
- 調査結果を公表し、**大学教育に対する社会の理解を深める一助**とする。
- 調査結果を**今後の国における政策立案の際しての基礎資料として活用**。

令和元年度 全国学生調査(試行実施) 実施概要

【調査対象】

- 参加大学の学部3年生(5～6年制課程は4年生)

【調査方法】

- Web（スマホ等）によるアンケート調査

【調査時期】

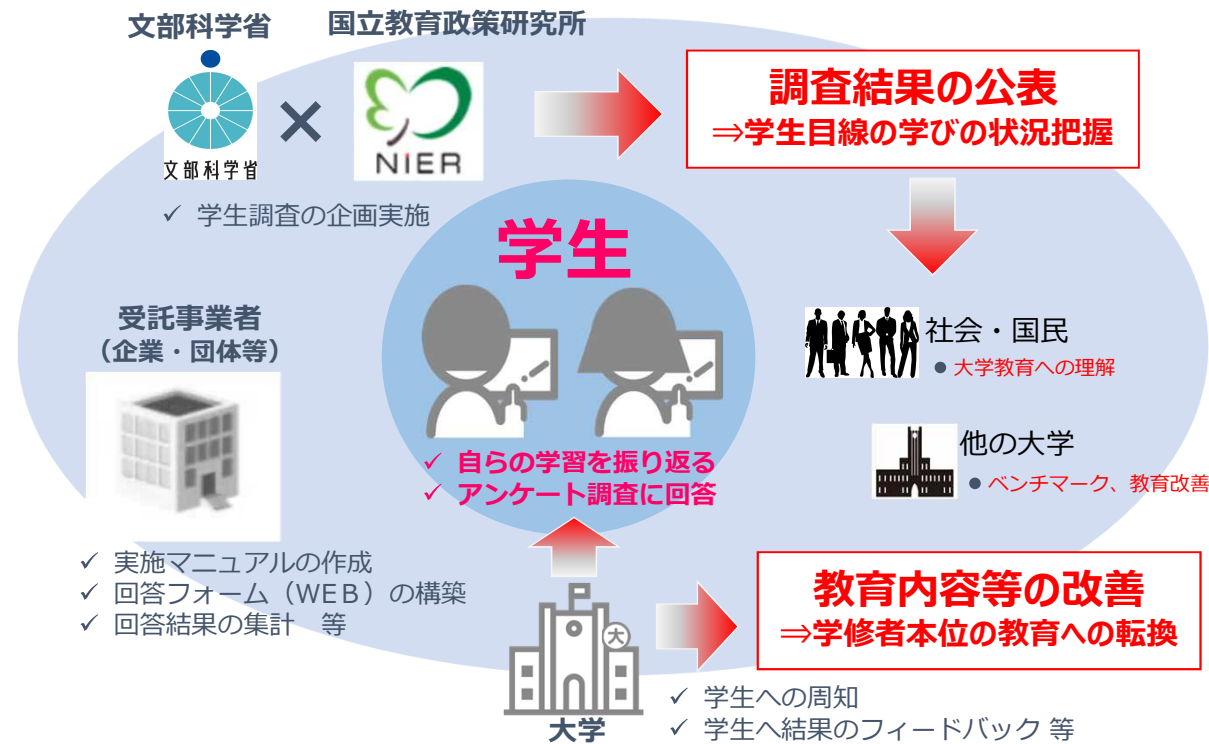
- 令和元年11月25日（月）～12月20日（金）

【調査項目】

- 大学での授業や経験 ・ 学習時間
- 知識や能力を身に付けるにあたって大学教育が役に立っているか 等

【調査結果】

- 全体の調査集計・分析結果や調査実施上の課題点等を公表[※]
 ※参加大学ごとの集計結果の公表は行わない
- 参加大学には自大学の調査結果をフィードバック



※第2回試行調査及び本格実施に向けて調査結果を評価・検証